『彼女はワンダー・ウーマンにちがいない!』

一人のスーパー・ヒーローとの架空の出会い

昨夜、私はプリンセスのような素晴らしい女性に出会いました。 彼女は、知的で、強くて、機知に富んでいましたが、 現代に幻滅を感じていました。

彼女は、出自については、はっきり言いませんでしたが、 「神聖な任務」があると話しました。 疲れ切った私の耳にとって、それはナンセンスのように聞こえました。

「私は、世界をより良い場所にしたい。 正義、自由、平等のために貢献したいのです。 恐れることなく世界を育む手助けをしたい」 この賢明でまだ素朴なアマゾンは、勇敢に発表しました。

彼女は、何処かの古代ギリシャの島の出身でしたか? あるいは、CIAの回し者だったのでしょうか? 彼女は、古代のエイリアンの技術を探していましたか? それとも、彼女は忙しい一日の終わりに息抜きをしたかったのか?

彼女は陽気に「私をダイアナと呼んでね」と言った後、 「人はそれぞれ、世界平和に寄与できるのよ」と言った。

彼女は、もっと話したかったようですが、 ブレスレットが鳴り始めたため、急いで出発してしまいました。

あの人は、私が知っていた他の誰とも違っていたので、 信じ難い出来事でしたが、実際にあったことだと、結論づけました。 私は、ワンダー・ウーマンとコーヒーを楽しみましたが、 その後、彼女は青空の中に消えました。

ドミートリイ: 十分に深く見れば、すべての女性は多くの点でワンダーウーマンのようなものです。

イング: (その不条理を楽しんで)一体どれだけの人が深く見る? 自身の事務で忙し過ぎて、 私たちほとんどには、周りの世界はぼやけて見えている。

フリーダ: 私にとって、この出会いの興味深い点は、その儚さです。実際には、私たちの出会いのほとんどは、つかの間に過ぎないのではありませんか?

悟: そうかもしれませんが、束の間の出会いが、時として及ぼす影響を過小評価しません。

- T Newfields (和訳: 吉田典子と Teresa) 開始: 2016年新台北市・★ 完成: 2018年横浜市

